

事後評価報告書

第2回評価委員会

平成31年1月23日（水）

研究種別	一般枠	
研究課題名	地下水を利用した施設トマトの夏期高温障害対策技術の確立	
研究期間	平成28年度 ～ 平成30年度	
	評価項目	平均点
1	研究目標の達成度	3.4
[コメント] 夏期高温下における抑制トマト栽培で発生する生育不良の回避技術の確立は、近年の気象変動を考えると不可欠なものである。その対策に向けて地下水という地域資源の活用技術の開発は、県として実施するに値する研究であったと判断する。ただ、地下水利用により温室内作業改善が図られることが明らかになったものの、トマト生産の上では明確な技術を確立できなかったことは残念である。一方、当初の計画において目標とした成果が得られない状況下で、計画の修正を行う判断は適切であったと考える。また、他の技術との併用において効果的な活用を見出したことは、今後の成果に繋がるものであり評価に値すると考える。		

事後評価報告書

第2回評価委員会

平成31年1月23日（水）

研究種別	一般枠	
研究課題名	野菜の有機栽培に適した耕種的管理技術の確立	
研究期間	平成28年度 ～ 平成30年度	
	評価項目	平均点
1	研究目標の達成度	3.8
[コメント] 化学農薬や化学肥料利用に対する環境保全への考え方が進んできたのにもない、有機栽培技術の確立が望まれているのも事実であり、県として実施するに値する研究であったと判断する。ただ、有機栽培に適した耕種的管理技術が確立されたのは夏秋ナスおよび夏秋キュウリのみであったのは残念ではあるが、有機栽培に適した品種選定や有機資材の追肥効果等についての基礎的データが得られたことは、次に繋がる成果として評価できると考える。		

事後評価報告書

第2回評価委員会 平成31年1月23日（水）

研究種別	重点化	
研究課題名	ピラミッドアジサイの切り花および鉢花の高品質生産技術の確立	
研究期間	平成28年度 ～ 平成30年度	
	評価項目	平均点
1	研究目標の達成度	4.2
[コメント] 近年、国内花き生産は停滞しているものの新規花きに対する消費者の要望は高い。本課題では、本県育成ピラミッドアジサイの高品質生産技術の確立を目指したものであり、県として実施するに値する研究であったと判断する。研究期間内に、目的とした開花調節技術、草姿改善技術、そして花色着色調節技術を開発したことと、新品種候補を作出したことは賞賛に値する。今後は、普及に取り組んで頂きたい。		